

## 令和2年度 前期生徒総会と生徒評議会

2020. 6. 23

### 1 生徒総会

生徒総会における全校への提案事項や学校への要望事項について各学級で話し合いを持った。その後、生徒評議会で協議の上、生徒総会で次のような提案と要望がなされた。

#### (1) 提案事項

LGBTについて学ぶ機会をつくる。(3-4)

- ・ 土居中にも、悩んだり不安を持ったりしている仲間がいるかも知れない。
- ・ 人権課題であるLGBTに関する人権学習ができていない。
- ・ LGBTについて理解を深めることで、周りの人の個性を大切にしていける。

#### (2) 要望事項

男女別に指定されている制服を、自由に選べるようにしてほしい。(1-1)

- ・ 性別による差別をなくしていきたい。
- ・ 男女に関わらず、自分でスカートやズボンを自由に選べるようにしてほしい。

### 2 生徒評議会

生徒総会を受けて、評議会で次の意見がまとめられた。

#### (1) 生徒総会後の取組

1年生から「男女別に指定されている制服を、自由に選べるようにしてほしい」という要望があった。これに対して生徒評議会では、「なぜそうする必要のあるのか、というところから理解しなければならない」という意見があった。1年生からの要望をすぐ実現することは難しいため、まずはLGBTについての理解を深めるための学習をすることで、周りの人の個性を大切にする生き方を目指せるのではないかと考えている。全体で統一した授業を行うか、講師の方を迎え、全校集会を行うのはどうか。もしくは、生徒会役員や人権委員会を中心に、「いじめSTOP 愛顔の子ども宣言」の具現化につながる取組として、何らかの活動を考えていきたい。

## 令和2年度 第1回・第2回校則検討委員会

2021. 1. 14

### 1 校則検討委員会の構成メンバー(27名)

P T A会長・副会長・健全育成部長 計 8名

生徒会本部役員 計 8名

教職員(校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・学年主任・各学年生徒指導と生徒会担当) 計 11名

### 2 協議内容

#### (1) 男女別に指定されている制服を自由に選べるようにしてほしい。

##### ① 主な意見

- ・ 一人一人の個性を大事にすることにつながるのではないかと。
- ・ 実際に実施している学校がある。(LGBTの視点により)

- ・ スカートよりズボンの方が動きやすい場合もあるのでは・・・。  
(スカートが長すぎると自転車に絡まって危ないケースもあった)
- ・ 今までの固定観念を変えていかないといけないのでは・・・。
- ・ 自分で選べる環境を作ってあげることも大切ではないか。(選択の自由)
- ・ 高校によっては女生徒がズボンを選べるようになっているので、土居中でも取り入れていけばいいのではないか。
- ・ 制服を分けることで、体育の授業の更衣はどうしていくのか考えないといけないのでは・・・。
- ・ 女の子には可愛い制服をきてもらいたい・・・。(保護者として)
- ・ まずは学習をして理解を深めてからでないと、嫌な思いをする生徒が出てくると思う・・・。
- ・ 保護者の中には「LGBT」について知らない人もいると思うので、保護者にも学習の機会を提供していくべきでは・・・(家庭の協力も必要)。
- ・ 仲間づくりにまずは取り組んでいくべき。制服だけ変わってしまうと辛い思いをする子が出てくるかもしれない。お互いに認め合える集団づくりを今後していきましょう。

## ② 今後の取組方針

- ・ 性的マイノリティは、重要な人権課題である。土居中学校では、人権・同和教育の一環として、責任を持って学習を進めていく。
- ・ まず正しい理解や知識を得るために、研修が必要である。これから推進していく中心メンバーとなるPTA役員や生徒会本部役員の研修をまず計画したい。
- ・ 多様性を認め合える学校の土台づくりを進めながら、制服の改定についても前向きに検討していきたい。

## 3 その後の取組

2021年2月5日(金) 人権・同和教育研修会

大阪市のにじいろ i-Ru (アイル) から講師を招へいし、教職員・PTA (運営委員、同和教育部員)、生徒 (生徒会本部役員・人権委員) の研修会を計画

→ **新型コロナウイルス感染症蔓延により中止**